

2024 Collection of plywood works

第7回全国合板1枚・作品コンペ報告書

2024 Collection of plywood works

第7回全国合板1枚・作品コンペ報告書

主催

木材・合板博物館
日本合板工業組合連合会
日本合板商業組合

2024 Collection of plywood works

第7回全国合板1枚・作品コンペ報告書

はじめに	2
実施要項	3
作品紹介	5
受賞者一覧	23
総評	24

はじめに

第7回全国合板1枚・作品コンペ実行委員長
島根大学 教授

細田 智久

「第7回全国合板1枚・作品コンペ」は、公益財団法人PHOENIX（木材・合板博物館）、日本合板工業組合連合会、日本合板商業組合が主催し、林野庁をはじめとして多くの協賛・後援団体のご協力を得て開催することができました。

本コンペはコロナ禍にあった2022年第6回から一次審査（書類審査）・二次審査（現物審査）の二段階審査の方法を採用し、今回第7回からは小・中学生を対象とするジュニア部門を設け、合板の魅力をより多くの方々に知ってもらい気軽にご応募いただけるよう改善を重ねてきました。全国の小学生から成人までの幅広い年代層の方々に、一次審査時で128作品のご応募をいただくことができました。

国産材のヒノキ・スギを用いた合板の価値・魅力は近年急速に見直されています。国産材利用と植林のサイクルを回すことで二酸化炭素の削減につながることはもちろん、木造住宅をはじめとする建築物の耐震性の確保にも欠かせない材料となっています。近年の子育て世帯向けの戸建て住宅や若者向けシェアハウスでは、合板を下地材だけでなくそのまま仕上げ材として造作家具やキッチン台の材料にも使用されるようになってきました。

今回の作品の中では合板のもつ面材としての特性が活かされたテーブル・椅子に加えて、装飾品として身に着けるものや伝統的なゲーム盤をデザイン性豊かに創造されたものが見られました。さらには、合板の面材をツーバイフォーのような板厚を基準とした規格材とし、この規格材を断面形状L型、T型に組合せ、鉄鋼材の角材として使用した新たな工法の作品も登場してきました。

このように、合板の多様な新規性ある作品を多数掲載した本報告書をご覧ください。合板の新たな魅力・活用の可能性を感じていただけたらと思います。

1. 実行委員会

実行委員長

島根大学教授

細田 智久

実行委員

東京大学教授

青木 謙治

ものづくり大学名誉学長

赤松 明

埼玉大学教授

浅田 茂裕

東京学芸大学教授

大谷 忠

横浜国立大学准教授

小林 大介

ものづくり大学教授

佐々木 昌孝

上越教育大学教授

東原 貴志

島根大学名誉教授

山下 晃功

2. 審査委員会（2次審査）

審査委員長

ものづくり大学名誉学長

赤松 明

審査委員

島根大学教授

細田 智久

島根大学名誉教授

山下 晃功

事務局

日本合板工業組合連合会専務理事

上 連三

木材・合板博物館副館長

平川 泰彦

第7回 全国合板1枚 作品コンペ

<https://gouhancompe.com>

グランプリ

林野庁長官賞

副賞
賞金 30万円

金賞(島根賞) 副賞 10万円
銀賞 副賞 5万円
銅賞 副賞 3万円

ジュニア部門もあるよ!

応募
期間

7月1日(月)

～9月10日(火)

2024年

※web応募またはEメールにて応募ください。

一次審査
通過者
作品提出
期間

10月1日(火)

～10月14日(月)

2024年

※ご提出いただけない場合、失格となります。

応募してくれた
小・中学生には
参加賞をプレゼント!



第6回グランプリ受賞作品「Supita」

応募方法については
裏面またはホームページをみてね

〈主催〉

(公財)PHOENIX 木材・合板博物館
日本合板工業組合連合会
日本合板商業組合

〈協賛〉

(一財)田部謝恩財団
(一社)日本木工機械工業会
(公財)日本合板検査会

〈後援〉

林野庁、(公社)日本木材加工技術協会、(一社)日本木文化学会
(一社)日本木材学会、日本木材青年団体連合会、全日本中学校技術・家庭科研究会、
(一社)日本産業技術教育学会材料加工(木材加工)分科会、
(一社)合板DL普及協会、(株)日刊木材新聞社、開隆堂出版(株)、
Ton-ton(合板DL教材Kism)

事務局

〒136-0082 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー4F
木材・合板博物館内 全国合板1枚・作品コンペ事務局
E-mail jimu@gouhancompe.com / HP <https://gouhancompe.com>



合板1枚
作品コンペ

第7回 全国合板1枚・作品コンペ

1 開催趣旨

木質面材の代表格「合板」は、炭素固定をして地球温暖化防止に役立つなど、地球に優しく、持続可能な資源である木材を原料にして製造されています。また、合板は、最新の木材加工技術により高い性能と品質を持ち、屋根・壁・床の下地材として私たちの住まいの安全を支えているなど、私たちの生活になくてはならないものです。合板1枚で新たな発想の作品を創ることで、合板の限られた用途以外で発揮される美しさ、優しさ、面白さ、ユニークさ、繊細さなど多面的な新たな魅力を引きだしていただきたいの思いからこのコンペを企画しました。

合板が生み出すさまざまな魅力が家具や造形・美術・工芸作品としていかに表現されているのか、そして「合板1枚」がどのように活用されているのか、そこが一番のポイントです。一緒に合板の新たな可能性を探っていきましょう。

2 審査基準

- 本コンペの趣旨を踏まえ、以下の項目を考慮して審査します。
- ①合板の良さ、美しさ、おもしろさなどが活かされているもの
 - ②合板1枚以内を有効に利用しているもの
 - ③合板の利用について普及効果があるもの
 - ④合板の新たな用途開拓を見出したもの
 - ⑤合板の強度的特性、物理的特性を活かしたもの

3 応募条件

上記の「審査基準」や下記の「作品規格」に従って、オリジナルで未発表のものを製作してください。著作権および工業所有権を侵害すると判断されたものは除外します。応募は個人またはグループのいずれでも可。ただし、作品製作は小学生以上に限ります。

- ◆作品規格
- 応募作品には、合板(単板を奇数枚貼り合わせて構成されたもの。国産合板推奨)を使用。色々な厚さの合板を組み合わせても良いが、合板1枚のサイズは、板幅91cm×板の長さ182cm(3尺×6尺(1.62m以内))に限る。板厚は自由だが、規格品(2.5mm～30mm)を使用する。
- ①家具金具類(丁番、取っ手、キャッチャー金具など)や補強金具、接合金具なども使用できる。
 - ②応募作品には、色塗り、絵を描く、彫刻、布貼りなど表面装飾もできる。
 - ③特殊な合板を製造して使用する場合は、特殊な規格の合板を使用する場合は、必ず事務局に問い合わせること。

- <応募に関する諸注意・権利規程などの留意事項>
- ①応募作品は、応募者自身のオリジナルで国内外未発表のものに限る。また、入賞作品は主催者の同意なしには公表しないものとする。
 - ②すべての応募作品の特許、実用新案、意匠、商標、著作権に関するすべての権利は応募者に帰属する。必要に応じて応募者本人が権利保護等の措置を講じる。
 - ③応募作品が既発表のデザインと同一または酷似している場合、あるいは第三者の知的財産権の侵害となる場合は、受賞発表後であっても受賞を取り消すことがある。
 - ④一次審査通過者は、二次審査のために事務局へ作品を提出する必要があり、その際に発生する送料等は自己負担。また審査後、作品返却の際に保険加入を希望する者は事務局まで連絡すること。保険料についても自己負担とする。
 - ⑤入賞作品については、合板1枚作品コンペ事務局が当コンペを含めた事業の広報・宣伝物に作品およびその写真などを無償で使用する権利を有する。事務局が使用する場合には、作品名と製作者氏名(団体名)を公表する。
 - ⑥事務局に提出後の作品の管理と輸送については万全の注意を払うが、天災・その他の不可抗力による事故による破損・損失については一切の責任を負わない。
 - ⑦上位入賞作品については、主催団体および関係団体による展示やイベントなどでの作品紹介を目的として寄贈を依頼する場合がある。
 - ⑧応募者の個人情報は厳格に管理する。

事務局

〒136-0082 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー4F 木材・合板博物館内 全国合板1枚・作品コンペ事務局
ホームページ <https://gouhancompe.com> Email: jimu@gouhancompe.com (問合せ専用) / oubo@gouhancompe.com (応募専用)

4 応募方法

応募期間内に「WEB応募」もしくは「メール応募」にてご応募下さい。高校生以下の応募の際には、保護者または教員が確認の上、ご応募下さい。ただし、作品については子ども自身が製作した作品に限ります。

- ◆WEB応募
ホームページ(<https://gouhancompe.com/>)内の応募フォームより応募する。 ※googleアカウントへのログインが必要。
- ◆メール応募
メール本文に下記項目を記載し、oubo@gouhancompe.comへ送る。
- 件名 「合板1枚・作品コンペ応募」
本文 ①氏名(フリガナ)②年齢③所属先/学校名④郵便番号⑤住所⑥電話番号⑦メールアドレス⑧応募履歴(今回が初めて/〇回目)の応募⑨作品タイトル⑩作品コンセプト・説明(機能や特徴など)を記入する。
- 添付 写真3～4枚(真上、正面、側面)
設計図(寸法がわかるものでスケッチでも可、内部構造があるものはそれについても記載)
※添付ファイルが5MB以上になる場合は無料のオンラインストレージサービスをご利用ください。

- ◇一次審査後
一次審査通過者は作品をダンボールなどで梱包し、期日までに事務局に送付。送料は応募者負担とし、送付後は事務局へ連絡すること。また、作品提出がない場合は失格とする。

右記QRコードからホームページをご覧いただけます。



5 結果発表

一次審査結果通知: 2024年9月下旬頃 (Eメールにて個別に通知)
一次審査通過者 作品提出期間: 2024年10月1日(火)～10月14日(月)必着。
提出がない場合は失格。

結果発表: 2024年10月下旬頃。
ホームページ(<https://gouhancompe.com>)上で発表。

6 賞・副賞

グランプリ (林野庁長官賞)	副賞: 賞金30万円	1件
金賞(島根賞)	副賞: 賞金10万円	1件
銀賞	副賞: 賞金5万円	2件
銅賞	副賞: 賞金3万円	3件
《ジュニアの部》※小・中学生限定		
グランプリ(木育賞)	副賞: 図書カード1万円	
金賞	副賞: 図書カード5千円	
奨励賞	副賞: 図書カード2千円	

※島根賞=合板1枚・作品コンペ発祥の地 島根賞
木育賞=山下晃功 木育賞

※高校生(高専3年生以下を含む)以下が受賞した場合、賞金は現金ではなく同額の商品券を贈呈いたします。

7 入賞作品展示

展示期間: 2024年12月頃～(約一ヶ月間)
展示場所: 木材・合板博物館(東京・新木場)

※表彰式の開催はございませんが、合板の日記念式典(11月8日)にて入賞作品を紹介する予定です。

※入賞作品は展示後に返送いたします。その際の返送料は不要です。

2024 Collection of plywood works

第7回全国合板1枚・作品コンペの
入賞16作品を紹介します

trekantet stol

村井 翔吾

3つのカンチレバー構造を使用し、立体感のある構造と合板の特徴のしなる動きを全身の圧力を分散させる構造に活かしました。2段目の面には物を置いたりして使用することができます。そして背もたれには合板の厚みを増やし、斜めに加工することによって、よい座り心地にしています。斜めに座ったり、横向きに座ったりして、背もたれをひじ掛けとして使用することもできます。組み立て式の構造にしており、組み外すと、とてもコンパクトで収納がしやすいのも特徴です。



*「trekantet stol」とは、デンマーク語で「三角椅子」という意味



受賞のよろこび

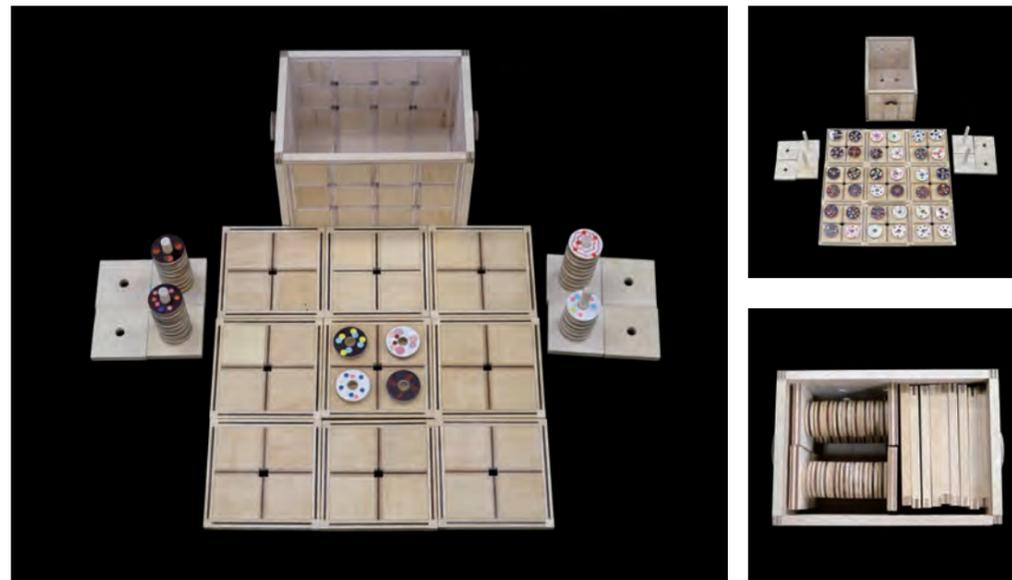
この度は、私の作品をグランプリに選出していただき、誠にありがとうございます。この作品は、足置き、荷物置き、座面、背もたれがすべて一体化し、合板の無方向性を活かしたS字型の形状を、3方向に設けることでカンチレバーのように、しなりを生かした柔らかい掛け心地を実現させることを目標に設計しました。この経験を活かし、少しでも人々が豊かにできるような家具をデザインできるように尽力します。

審査委員からのコメント

この椅子は、座ってみたいと思わせる作品です。カンチレバー構造を木製椅子に採用する際どうしても強度が心配になります。制作者は、3つのカンチレバーを巧みに組み合わせ、座に掛かる力を分散させ、また座る位置を固定せず、好きな位置で、好きな姿勢で自由に座れば良しとし、さらに肘掛けを背もたれとして使い、座面下を棚として活用できるとして、組み立て、分解が容易に出来る、極めて興味深い多機能な椅子に仕立てられています。往々にして多くの機能を椅子に持たせると陳腐な形になりますが、本作品には造形美ある完成度の高い椅子と感ずる秀逸な作品です。

ドーナツオセロとコースター

Ms.Donut (福田 優茉 / 岩室 百音 / 堀 野々花)



大学の木材加工の授業で余った合板のみを利用してしています。SDGsを意識し、廃材を利用して作品を作りました。

コースターとして利用することも、オセロとして遊ぶこともできます。オセロとして使うときは、台を回転させたり移動させたりすることで、戦略の幅が増え、新しい楽しみ方もできます。

受賞のよろこび

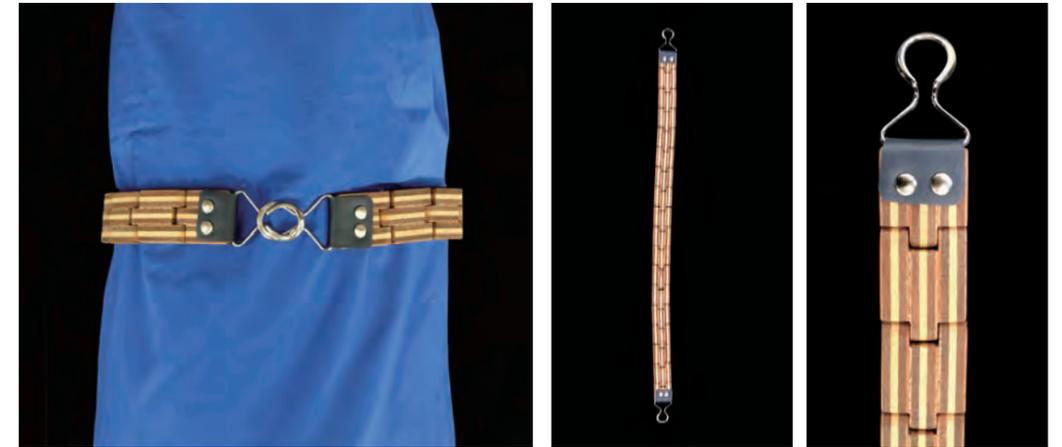
この度は、金賞受賞、ありがとうございます。私たちが所属する研究室では、毎年、小学生向けの木工教室を開催しています。作業中に一緒に参加される弟妹が飽きずに遊べるように木材加工の講義で余ったシナ合板の端材でオセロを作りました。箱とオセロ盤は、神奈川県伝統工芸である箱根細工を意識して細かく裁断したシナ合板を接着剤で貼り合わせてあります。オセロ盤はコースターとしても使えるよう工夫しました。

審査委員からのコメント

色の異なる合板の廃材により象嵌加工された9枚のコースターと合板を丸く切り抜き、表と裏を白色と黒色で着色したのち装飾し中心に穴を開けドーナツに似せた形になっています。9枚のコースターをテーブル上に、正方形の形に並べ、ドーナツを駒にみたてた円盤を並べるとオセロゲームができます。またオセロゲームのコースターを回転すれば、自分の駒が敵の駒に変わる経験したことのないオセロゲームができます。ゲームの楽しさを今まで以上に工夫した作品だと思います。象嵌された表面は木の美しさや優しさを丁寧な加工によって表現された秀逸な作品です。

合板ベルト

星澤 知果



新しく服を購入した際に、他と被らなくて印象に残るベルトが欲しいと思い合板でベルトを作りました。

受賞のよろこび

この度はこのような素晴らしい賞を受賞することができ、とても光栄です。合板でベルトを作ろうと決めた時、どのようにすれば合板の良さをいかしたベルトにできるだろうかと試行錯誤しました。実際に腰に巻いたら、想像していたよりも合板の層がとてもおしゃれで、綺麗に作れたことが嬉しかったです。合板という素材に挑戦し、製作した期間はとても楽しかったです。ありがとうございました。

審査委員からのコメント

手に持った瞬間、非常に完成度の高い作品で驚きました。合板を小片に切り、丁寧に加工・着色・接着し、革製品や金属金具と合わせて、身につける装飾品になっています。とても軽量であることも合板の強さと軽さが活かされています。秀逸なのは各パーツの接合部で、時計の金属ベルトのように滑らかに屈曲する機構になっています。製品化されるのに十分なデザイン・性能を持つ作品と思われ、高く評価されました。

組み立て式囲炉裏テーブル

尾見 賢司



お気に入りのBBQコンロにピッタリサイズの、囲炉裏のようにコンロを囲む形のテーブルが欲しくて作ってみました。自宅だけではなく、外に持ち出せるように組み立て式のテーブルを考えました。

受賞のよろこび

この度は銀賞を受賞できたこと、たいへん嬉しく思います。
実用的で、自分で使いたくなるような作品を作りたいと思い、完成したのが今回の囲炉裏テーブルです。
合板の素材を生かした構造やワンポイントのロゴ、素材感のある艶消し塗装もお気に入りです。
最初の試作では強度が出ず、何度も設計をやり直しました。
強度を出すための構造とデザイン的なバランス、合板一枚に収まる材料取りに苦労しました。

審査委員からのコメント

キャンプ場や庭先で利用できる囲炉裏のようにBBQコンロを囲む組み立て式のテーブルです。分解して持ち運びでき、組み立てに金具を使わず、柄接ぎ(ほぞつぎ)などの接合法を使い組み立てます。また、3段階の高さにコンロの高さを調整出来るよう幕板に開けた穴に2枚の板を渡してあります。テーブル上にBBQの材料や道具などを置いても人が乗っても大丈夫な構造を採用し、テーブルの木端面には糸面を取り、表面も丁寧な仕上げがなされ使用者が怪我しないよう配慮されています。多くの人が非日常の時間と環境のもと、機能、構造、使い勝手、安全を考慮した優れた作品です。

合板モック

高畑 昊生 / 近勢 未莉 / 塚本 陽太 / 木村 虎太郎 / 馬場 まゆは / 山本 知花



みなさんは合板の上で寝ようと思いますか？私たちは合板で、まるでゆりかごのようなハンモックをつくりました。子供はもちろん、大人も170cm以下なら寝られます。大きい人はベンチ型のハンモックにしてください。

合板でハンモックなんて…と思うかもしれませんが、合板は環境にやさしく、布より丈夫で、曲げられる、香りや木目でリラックスできます。ハンモックの材料として一石四鳥なのです。持ち運べば、川のほとりで砂浜で、キャンプやバーベキューで癒しを与えてくれます。部品はバラバラにすることができるので災害などの緊急時に運んで組み立てることができます。このように合板でつくったハンモック、名付けて合板モックは、合板の長所を活かした完璧な作品となっています。

受賞のよろこび

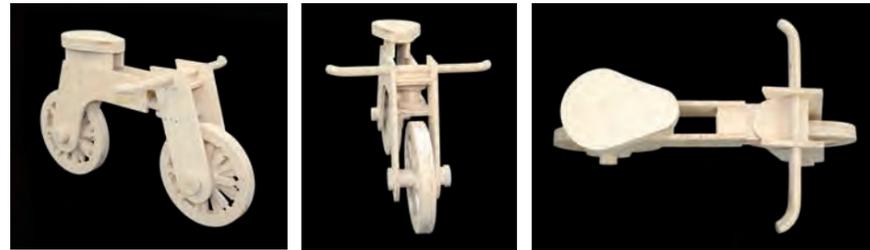
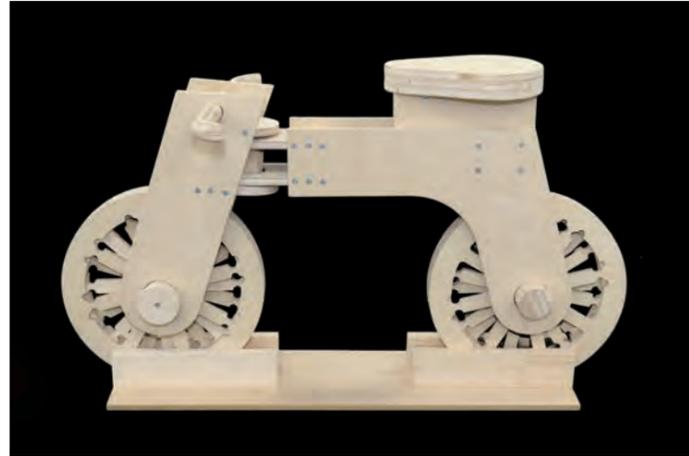
今回、素晴らしい賞を受賞できてみんな喜んでいました。この作品は数枚の板を湾曲させながら舟の形になると気づいたことをきっかけにして生まれました。
部員みんなで話し合い、キャンプや被災地で持ち運べるベッドになるんじゃないかと製作を始め、合板でできたハンモック「合板モック」が完成しました。
最初に横になったときはドキドキしましたが、曲げても丈夫な合板の魅力が伝わる作品となり、とてもうれしいです。

審査委員からのコメント

「合板モック」は、5種類の部品から成っています。分解組立は、簡単に左右に立つ板に開けられた柄穴(ほぞあな)に横棧(よござん)の柄をくさびで止め、5枚の合板(厚さ6mm)を板材に固定すればできあがりです。木製ですので、木の香りと肌ざわりを直接肌で感じることができ、従来の網糸製ハンモックより安定感があります。また、簡単に分解組立ができるので戸外でも遊びたくなる作品です。

Kick bike

石橋 愛弓



私は幼児用の自転車を作りました。ペダルをつけると合板1枚では難しいので足で蹴るタイプにしました。

この自転車の特徴は、曲がりやすいようにハンドルがきれるようになっており可動域が広がっています。タイヤは3枚重ねになっており、ホイールの部分を少しずつずらし着物の柄に使われる花車をモチーフにしました。幼児用の自転車なので持ち運びがしやすいです。制作する前は合板1枚で作れるのか不安でしたが自分が納得のいく自転車が完成しました。住んでいる地域に子供を預ける場所があるのでそこへもっていきたくさんの子供たちに乗って遊んでもらいたいです。

受賞のよろこび

この度は、沢山の作品の中から銅賞に選んでいただきありがとうございます。受賞のお知らせを聞いて、飛び上がるほど嬉しかったです。期限までに完成するか分からない不安に押しつぶされそうになることもありましたが、気持ちに負けず粘り強く最後までやり抜くことができました。この経験を自信に変え、これから将来の目標に向かってがんばっていききたいと思います。

審査委員からのコメント

各パーツがしっかりとした厚みで作られており、子どもが乗って遊べる頑丈な作りになっています。ハンドルやサドルの部分は丁寧に研磨され、滑らかに仕上げられています。驚いたのは車輪を止める車軸部分の作り込みで、スムーズに車輪が回転します。小さな子どもたちの活動的な使用に耐えることができると思われる見事な作品です。

wooden lantern

高倉 咲工



合板の頑丈性を活かして簡単に組み立てられる合板ランタンを作りました。

その時に出た端材で何か作れるかな?と思い合板の面と中身の色の違いを利用し、それを木に見立て、ランタンを飾る木にしてみました。

受賞のよろこび

この度は銅賞を頂きありがとうございます。今回製作した「wooden lantern」は、ランタンについては金具を使わずに組み上がるものを作りたいだったので、組立てやすく・崩れない形になるよう工夫しました。デザイン性を出すために木をどうやって再現するか一番悩みました。学校活動のなかでゴミを再利用し新たな物を生み出した経験から、ランタンを制作している時に出た端材を使うというアイデアに繋がりました。私が作りたかった作品が出来たので本当に嬉しく思います。

審査委員からのコメント

作者は合板ランタンの製作途上に出てきた合板端材を集めて大樹を制作した廃物利用作品です。この廃物利用作品にしては、合板端材の合板積層面を集めて、年輪模様のデザインとして大樹の幹(みき)が作られています。Good Ideaです。大樹の幹内部は木材組織のように、多数の合板端材の単板積層面が年輪で樹齢を重ねた生命体を感じさせます。この生命体の合板端材からなる樹木は、樹木光合成のエネルギーとして合板ランタンの光となって放っています。このような自然界の樹木と人工界の「合板」の融合のメッセージ性のある意義深い作品です。

じいじchair

長橋 汎海



私から祖父に向けての贈り物。
祖父にゆっくり座りながら本を読んで休んでほしいために考えました。

受賞のよろこび

合板コンペ銅賞を受賞いたしましたこと、大変光栄に存じます。この度の受賞は、私の努力だけでなく、支えてくださった皆様のおかげであると感謝しております。今後もさらなる精進を重ね、より良い作品を生み出せるよう努めてまいります。

審査委員からのコメント

合板に細かな筋を入れることにより曲げ加工されて作られています。肘掛けの部分にはミカンの断面のように扇状に沢山の木を収納することができるよう工夫されています。作品にはプレゼンテーション用のパネルが同封されており、デザイン意図や使われ方の想定が大変分かりやすく表現されていました。

適温

恩田 紫野



定年を迎え、マイペースに時間を過ごす夫婦をターゲットにデザインした椅子。この時期のふたりにとって、セカンドライフではこれまでの想い合いに加えて、新しい距離感や気持ちが生まれるはず。温もりのある時間をイメージし、曲線を用いて表現しました。座面の内側に向かって約3°の傾斜をつけることで、座った際に自然とお互いの存在を感じられるようデザインされています。ゆっくりと流れる時間を、そのふたりにとって心地よい距離感で過ごせる椅子です。

受賞のよろこび

現代でセカンドライフを過ごす・迎える、大人の生活が少しでも豊かになるよう願いを込めて、このデザインを考えました。製作する上で将来を想像したり、未知の感覚を表現したりすることに難しさを感じました。この豊かさにニーズが増加していくであろう昨今、また第二の人生を彩るデザインのプロダクト制作に挑戦しようと思います。初めてのコンペ出品であったこともあり、自分の作品が賞をいただけて心から嬉しいです。

審査委員からのコメント

定年を迎えた夫婦のためのベンチで、二人が座ると二人の肩が自然に寄り添うように2枚の座面が内側に向かって約3°傾斜しています。二人が座ると自然にお互いの存在を感じ、心地よい距離感で流れる時間を過ごせる椅子だと思います。大変興味ある椅子ですがゆったりしたセカンドライフを楽しむためには、今回コンペの条件では無理かもしれませんが、座面をもう少し広く、低く背もたれがあると、さらにセカンドライフが楽しめる椅子になるかと思っておりますのでご検討ください。

木の生る樹(きのなるき)

松谷 優花



この作品は、樹木から生産された木材である合板を利用し、樹木を表現しています。普段日常にとけこんで、私たちに様々な恩恵を与えてくれる‘き’ですが、これが‘き’であると、‘き’はつねに身近にあると、意識したことはあるのでしょうか。あえて木で樹を表現することによって、「樹から木」を、「木から樹」を感じることができる作品にしました。樹木のそばにあるのは‘どんぐり’と‘りす’です。この‘樹木と’どんぐり’と‘りす’により、自然界の生態系や多様性を連想させるようにしました。さらに、樹木の樹高が低いことや葉が少ないことは、これから春に向けて成長する、つまり、日本で木材活用の未来への展望を込めています。

受賞のよろこび

審査委員特別賞をいただき、誠に嬉しく思います。この『木の生る樹』は、私の思いがたくさん詰まっている作品です。もともと、ハンガーラックを作成しようとしていましたが、ただのハンガーラックではなく、私の思いを伝えるメッセージ性のあるものにしようと考えました。そして、ハンガーラックが樹木の形に似ていることに気づいたため、私が取り組んでいた木育と関連づけて、樹木、木材、生態系を表現するような、教材になればなと思い作成しました。どうかこの作品をご覧になったみなさま、「樹から木」を、「木から樹」を感じてください。

審査委員からのコメント

合板もしよせんは樹木の生き物からの木材資源により製造された木材材料です。動物、植物の共生自然界の生き物の一つです。そして、今や地球環境時代の持続循環再生可能資源として注目の木材資源であり、木材材料となっています。この作品「木の生る樹」は動物のりす、小鳥そして樹木誕生のどんぐりを繋いだ物語の中心に、合板DL材のL材を組み合わせた樹木の幹が存在感を示し、コンセプトを持った貴重な合板作品です。

合板アコーディオン

田中 佑



あられ組みをして本体を組み立てました。
鍵盤をおせるきちんとしたアコーディオンです。
蛇腹は布、厚紙、ビニールテープで作りました。

受賞のよろこび

この度はこのような素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。この合板アコーディオンは、部活での3年間の集大成として楽器を作りたいという思いから始まりました。今回重視したのは、外観や触り心地です。今回の大会で木工をすることの奥深さと、本物のアコーディオンの仕組みの素晴らしさを再認識する良いきっかけとなりました。今年で卒業なので木工からは離れますが、いつかまた機会を見て再挑戦したいと思います。

審査委員からのコメント

マス作りなどで使用される「あられ組み」で組み立てられていることで、箱型の各接合部は合板の断面と板面が交互にリズムカルに表現されたデザインとなっています。白黒の鍵盤も合板色と黒色塗装により再現され、思わず指で触れて弾いてみたくなる作品に仕上がっています。

かえるのいえ

荒山 凜



かえるのいえにおともだちがあそびにきました。

受賞のよろこび

いえの形のちょ金ばこを見て大きなしほふつきのたてものを作りたいなと思ったので、「かえるのいえ」を作りました。かぞくと工作ができる公園「わんぱく天ごく」で作りました。あそびにきた女の子の名前は、まる子ちゃんです。男の子の名前は、まる太くんです。へやには、アイスクリームとかがみとおきものをおきました。うまくできたところは、人形がねるベットです。たいへんだったところは、まる太のいすです。やねをとって中を見やすいようにしました。

審査委員からのコメント

三角・切妻屋根のかえるの家には、丸・四角の沢山の窓が開いており、内部の賑やかな雰囲気が外に漏れ出しています。家に加え、玄関までの前庭・表札・庭木も作られており、かえるが子どもたちを迎え入れたい気持ちが伝わってきます。内部にもテーブル・椅子・ベッドなどが作られ、子どもたちがゆっくりとした時間を過ごすことができるよう工夫されています。かえるの家という非日常の空間への冒険心が感じられる作品です。

違い棚

山野内 彬仁



本、小物両方が収納できる大きい丈夫な棚

受賞のよろこび

この違い棚は安全性と収納性の高い棚にするために、足となる部分をL材にして強度を上げたり多く収納するためにT材を使って2つの棚を高さを変えて組み立てることで、本、小物など沢山の種類のものが収納できる棚にしました。また、収納するものや置く場所の事も考え、寸法を細かく設定して使いやすさも意識しました。今回はその違い棚でジュニア部門で金賞を取ることができて嬉しく思います。

審査委員からのコメント

合板DL材(合板規格材)を組み合わせた、鉄骨材の山形鋼のL材やH形鋼の半分のT材を荷重の大きくかかる脚材とし、貫材(ぬきざい)が合理的に配置されて丈夫な構造となっています。これだけ20本以上の多い部材を正確な位置に正しく、美しく接合された精度の高い作品です。

スマイルチャージャー「まあはす小屋」

関 日菜子 / 秋山 智士 / 田村 詩織 /
北澤 木乃香 / 山本 夏生



「まあはす小屋」は、子どもたちの優しい願いと成長が詰まった結晶です。
「まあはす小屋」に入る誰もが笑顔になり、さらに、その人が周囲へも笑顔を広げられる
ようになるためのスマイルチャージができる空間です。

受賞のよろこび

横浜国立大学に行くたびに作品ができあがるので、行く日がワクワクした。(関日)
みんなで作った作品で賞をもらったのが嬉しい。(秋山)
のこぎりで板を切る時、力があるので大変でした。ビーズをワイヤーに通す作業が楽しかったです。(田村)
ビーズの買い出しとペンキを塗る時、泡が出たり、ムラがでないように気をつけながら塗るのが大変でした。(北澤)
みんなで力を合わせてチャレンジをした作品で受賞できたのがめちゃ嬉しい！早く、まあはすで遊びたいです。(山本)

審査委員からのコメント

子どもたちが屈んで入り、窓枠の中から見せる笑顔が想像できる作品です。水玉の模様、ビーズの装飾、幾何学模様があしらわれたパッチワークのバックスクリーンと、東西南北・上側のどこから見ても様々な仕掛けや装飾の工夫が施されています。
台の上に置けば、人形劇のミニシアターにも使える素敵な空間が作られていると思いました。

テーブルいす

水谷 律太



普段は工作用のローテーブル、人が遊びに来てイスが足りない時にはイスにもなる。欲しかったものから考え出した「テーブルいす」です。

受賞のよろこび

しょうありがとうございました。
上の中学生もいるのに、しょうれいしょうをとれるのがすごいです。
いすにする時に、人の力にたえられなかったので、つっぱりぼうをつける、くふうをがんばりました。
またさんかします。

審査委員からのコメント

テーブル、いすは脚物家具と言われ、一般的に角材を材料にしてほぞ接合という高度な製作技術が必要な作品に挑戦した小学2年生にアッパレです。なぜならば、荷重(力)のかかる脚材の構造材は面材の合板を断面形状が+(プラス)になるように強度のある形状となっています。また、いすの座板やテーブルの天板から荷重を受ける幕板(まくいた)においても強度に耐えられる縦長の断面形状で使用されています。さらには、本体の前後左右の揺れにも耐えられる筋交い(すじかい)補強がされています。
お父さん、お兄さんたちとの共同作業であったとしても、地震大国日本の子どもとして構造力学優等生です。
アッパレ！アッパレ！

Lelic

南 ひかり



この収納棚は全部で6つ収納できることがあります。下の段には教科書をいれることができ、文庫本や漫画などの小さな本も収納できます。一番下のところには小さなぬいぐるみや、グッズを見せて飾ることができます。

私の家では最近、押し入れをDIYしてぬいぐるみ、本、教科書がある秘密基地のようなものができました。押し入れは広くないので、大半のスペースを教科書、ぬいぐるみ、本が陣取っています。しかし、この「Lelic」を収納場所にすれば、たくさんのもを一つに収納することができます。

受賞のよろこび

この作品は、私を含む三兄弟のことを考えながら製作しました。私には妹と弟がいます。3人で同じ机を囲んで勉強するとき、ある程度大きい机なのですが、いつも勉強道具で机の上がいっぱいになってしまいます。それぞれの勉強道具をおけるほどの店のようなものがあるなと思い、この作品を想像しました。私にとって、勉強する場所は、リラックスしながらできる場所だと思うので、「リラックス」をもとめて「Lelic」にしました。

審査委員からのコメント

この作品も合板DL材(規格材)とこれを組み合わせたL材、T材を脚材に使用し、天板には面材として合板を使用した作品です。大きな面積の天板上はいろいろなものを展示して飾り台としての用途にも便利な構造です。しかも、天板を支える幕板(まくいた)は縦方向に背高断面に使用されていて、大きな荷重がかかっても十分に耐えられる構造で、丈夫さの安定感があります。天板の木目方向が3枚揃っていないのが惜しまれます。

第7回全国合板1枚・作品コンペ

各賞受賞者一覧 (敬称略)

賞名	作品名	制作者名	分類	製作地
グランプリ (林野庁長官賞)	trekantet stol	村井 翔吾	一般	大阪府
金賞 (合板1枚・作品コンペ発祥の地 島根賞)	ドーナツオセロとコースター	Ms.Donut	一般	神奈川県
銀賞	合板ベルト	星澤 知果	一般	埼玉県
銀賞	組み立て式囲炉裏テーブル	尾見 賢司	一般	鳥取県
銅賞	合板モック	高畑 昊生 近勢 未莉 塚本 陽太 木村 虎太郎 馬場 まゆは 山本 知花	高校生	岐阜県
銅賞	Kick bike	石橋 愛弓	高校生	福岡県
銅賞	wooden lantern	高倉 咲工	高校生	大分県
銅賞	じいじchair	長橋 汎海	高校生	東京都
審査委員特別賞	適温	恩田 紫野	一般	東京都
審査委員特別賞	木の生る樹(きのなるき)	松谷 優花	一般	島根県
ジュニアの部 グランプリ (山下晃功 木育賞)	合板アコーディオン	田中 佑	中学生	山口県
ジュニアの部 金賞	かえるのいえ	荒山 凜	小学生	東京都
ジュニアの部 金賞	違い棚	山野内 彬仁	中学生	島根県
ジュニアの部 奨励賞	スマイルチャージャー「まあはす小屋」	関 日菜子 秋山 智士 田村 詩織 北澤木乃香 山本 夏生	小学生	神奈川県
ジュニアの部 奨励賞	テーブルいす	水谷 律太	小学生	東京都
ジュニアの部 奨励賞	Lelic	南 ひかり	中学生	島根県

小学生から一般の方まで多くの皆様からご応募いただき心よりお礼申し上げます。

この度の「第7回全国合板1枚・作品コンペ」は、1次審査（書類審査）と2次審査（現物審査）の2段階の審査で実施しました。1次審査の結果、ジュニアの部門では6作品、一般部門では26作品が選出されました。2次審査においては、審査員が一同に会して1作品ずつ合議により32作品の現物審査を実施しました。ジュニア部門では、グランプリ1作品、金賞2作品、奨励賞3作品、一般部門では、グランプリ1作品、金賞1作品、銀賞2作品、銅賞4作品、審査員特別賞2作品が受賞作として選出されました。

今回の審査基準は、①合板の良さ、美しさ、おもしろさなどが生かされているもの②合板1枚以内を有効に利用しているもの③合板の利用について普及効果があるもの④合板の新たな用途開拓を身出したもの⑤合板の強度的特性、物理的特性を活かしたものでした。これらの審査基準に基づいた作品を目の当たりにして、作品のできばえに驚きと感動を覚えました。

それぞれの作品には、自身と家族・友達・仲間など製作者との関係が作品に表現されているように思われました。ジュニア部門のグランプリ「合板アコーディオン」には、箱部の接ぎ手に丁寧に加工された「あられ組」が施され、蛇腹と鍵盤もあり、家族と一緒に合板アコーディオンの音を楽しんでいるのかなと思えるほどでした。一方、一般部門のグランプリ「trekantet stol」（三角椅子）は、3つのカンチレバーをおむすび型の座面とおむすび型の足掛け、肘掛けで固定し構成部材を効率的に配置し、形状・強度・安全性に留意するとともに座る方向も決まってない椅子で、多くの人が、座ってみたいと思います。

この度の第7回全国合板1枚・作品コンペに応募された作品は、合板を生活・遊び・娯楽・仕事に活用されるよう用途・機能・型式・材料・強度・美しさなどを考慮したものばかりでした。今後、合板1枚・作品コンペが広く普及することで人々にとって優しく魅力的な社会になると確信しています。

第7回全国合板1枚・作品コンペ報告書

2025年1月発行

編集・発行人

合板1枚・作品コンペ 実行委員会

第7回全国合板1枚・作品コンペを応援して下さった皆様

協賛

(一財)田部謝恩財団 (一社)日本木工機械工業会 (公財)日本合板検査会

後援

林野庁 (公社)日本木材加工技術協会 (一社)日本木文化学会 (一社)日本木材学会

日本木材青壮年団体連合会 全日本中学校技術・家庭科研究会

(一社)日本産業技術教育学会材料加工(木材加工)分科会 (一社)合板DL普及協会

(株)日刊木材新聞社 開隆堂出版(株) Ton-ton(合板DL教材「Kism」)